

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

・固定資産の減価償却の方法

直接法による定率法で減価償却を実施している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産(定期預金)	5,000,000	0	0	5,000,000
小計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
事業準備引当資産	3,400,000	0	1,400,000	2,000,000
減価償却引当資産	40,271	0	0	40,271
小計	3,440,271	0	1,400,000	2,040,271
合計	8,440,271	0	1,400,000	7,040,271

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	931,950	825,155	106,795
合計	931,950	825,155	106,795